

2020年度 事業報告書

2020年4月1日から 2021年3月31日まで



公益社団法人日本オリエンテーリング協会

[I] 法人の概要

当協会は、2012年6月4日付けで公益社団法人の認定を受け、同日設立登記を行った。
この事業報告は、公益社団法人として第8期の事業報告となる。

1. 設立年月日

公益社団法人	2012年6月4日
社団法人	1991年4月26日
協会設立	1990年7月1日

2. 定款に定める目的

この法人は、我が国におけるオリエンテーリングを統括し、代表する団体として、オリエンテーリングの普及及び振興を図り、もってアウトドアスポーツの健全な発展に貢献するとともに、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業

- (1) オリエンテーリングの普及及び指導に関する事業
- (2) オリエンテーリング競技会の開催及び公認に関する事業
- (3) オリエンテーリングの競技力向上に関する事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 会員に関する事項

(1) 会員数

正会員数 計37会員 [36都道府県、日本学連]

(2) 指導員・競技者登録・コントローラ登録数

ディレクタ1級指導員数	77名
ディレクタ2級指導員数	130名
インストラクタ指導員数	94名
ナビゲーション・インストラクタ	45名
競技者登録数	1,845名
IOFイベントアドバイザー	9名
イベントアドバイザー登録数(フット)	30名
准イベントアドバイザー登録数(フット)	0名
イベントアドバイザー登録数(トレイル)	18名

5. 都道府県のオリエンテーリングを統括する会員(2020年度末現在)

北海道オリエンテーリング協会	堀井 学
岩手県オリエンテーリング協会	三ヶ田礼一
宮城県オリエンテーリング協会	岡本和広
秋田県オリエンテーリング協会	富樫博之
福島県オリエンテーリング協会	加藤一郎
茨城県オリエンテーリング協会	狩野平左衛門岳也
栃木県オリエンテーリング協会	岡崎良昭
群馬県オリエンテーリング協会	津金沢民男
(特非)埼玉県オリエンテーリング協会	福原正三
千葉県オリエンテーリング協会	奥田健史
東京都オリエンテーリング協会	杉本光正
神奈川県オリエンテーリング協会	碓井 進
新潟県オリエンテーリング協会	目黒正文
石川県オリエンテーリング協会	不破大仁
福井県オリエンテーリング協会	奥井稠朗
山梨県オリエンテーリング協会	酒井 寛
長野県オリエンテーリング協会	美谷島孝
岐阜県オリエンテーリング協会	大場尊美
静岡県オリエンテーリング協会	坂本太郎
(特非)愛知県オリエンテーリング協会	新帯 亮
三重県オリエンテーリング協会	前田亮一
滋賀県オリエンテーリング協会	古津和夫
京都府オリエンテーリング協会	古川勝美
大阪府オリエンテーリング協会	北川達也
兵庫県オリエンテーリング協会	尾上俊雄
奈良県オリエンテーリング協会	奥野信亮
和歌山県オリエンテーリング協会	山下直也
島根県オリエンテーリング協会	森山健一
岡山県オリエンテーリング協会	千田博通
広島県オリエンテーリング協会	伊東博司
山口県オリエンテーリング協会	渡邊正次

徳島県オリエンテーリング協会
香川県オリエンテーリング協会
愛媛県オリエンテーリング協会
福岡県オリエンテーリング協会
宮崎県オリエンテーリング協会
日本学生オリエンテーリング連盟

林 和志
松井繁成
河野忠康
原田 隆
小八重善裕
河合利幸

加盟していない県
青森県、山形県、富山県、鳥取県、高知県、長崎県、佐賀県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

6. 役員等に関する事項(2020年度末現在) (理事括弧内はブロック選出区域等を表す)

代表理事/会長(学識経験者)	山西哲郎	
代表理事/副会長(学識経験者)	愛場庸雅	
代表理事/副会長(学識経験者)	前田真理子(大里真理子)	
業務執行理事(学識経験者)	藤井範久	[競技力担当]
業務執行理事(日本学連選出)	木村佳司	[総務担当]
業務執行理事(学識経験者)	平島俊次	[技術担当]
業務執行理事(東海B)	新帯 亮	
業務執行理事(北海道・東北B)	信原 靖	[普及担当]
理事(北関東B)	高橋利之	
理事(首都圏B)	宮川早穂	
理事(首都圏B)	奥田健史	
理事(北信越B)	小林 力	
理事(近畿B)	楠見耕介	
理事(中国・四国・九州B)	伊藤好信	
理事(学識経験者)	茅野耕治	
理事(学識経験者)	羽鳥和重	
理事(学識経験者)	島津 弘	
理事(学識経験者)	瀬川 出	
理事(日本学連選出)	谷野文史	
監事	齋藤和助	(税理士)
監事	尾上秀雄	
顧問	堀井 学	
	村越 真	

7. 事務局に関する事項(2020年度末現在)

臨時職員	7名	高村 卓	清水由布子	小野賢二	友田賢吾	上松典子
		杉本光正	利光恵美			

8. 社員総会、理事会等に関する事項

(1) 社員総会

日時 2020年7月26日(日)
会場 新型コロナウイルス感染症による感染の影響「コロナ禍」を避けるため書面総会にて開催
書面総会に伴い、各議案書を会員に送付し、賛否についての議決権行使書の執行を依頼した。

議題

審議事項

第1号議案 2019年度事業報告及び2019年度財務諸表について
議決行使書の結果、賛成36名、反対1名により、賛成対数で承認された。
第2号議案 日本学連選出理事の退任と新任理事の承認
日本学生オリエンテーリング連盟幹事長の交代に伴う理事交代を提案した
退任 藤本拓也
新任 谷野文史
議決行使書の結果、賛成36名、棄権1名により、賛成対数で承認された。

第3号議案 基本財産の一部取り崩しについて

基本財産に当たる定期預金2000万円のうち、半分当たる1000万円を平成29年5月13日「第14回理事会」にて普通預金に変更することを承認していたが、実際に普通預金に執行したのは令和2年3月24日に行った。
2019年度決算書作成段階で、定期預金から普通預金に変えていたことを総会に諮っていないと、猿渡会計士から指摘を受けた。本来は、定款第35条第2項により7、「処分するときは、あらかじめ社員総会の承認を要する」とあり、総会への提案必要であった。
普通預金変更の目的は、大会等(WMG2021の運営準備費)のための一時貸出に運用するものであり、処分するものではないと判断してため、理事会での承認にとどまっていたが、改めて総会の承認を得るために提案した。
議決行使書の結果、賛成36名、反対2名、棄権1名により、賛成対数で承認された。

(2)理事会 [各理事会の詳細については議事録参照(JOA-WEB掲載)]

第24回理事会

日時 2020年5月24日(日) 13:05-17:00

会場	事務局及びweb会議(Zoom)	
議題	審議事項	
	第1号議案	2019年度事業報告書案 審議・原案通り承認
	第2号議案	2019年度財務諸表案 審議・原案通り承認
	第3号議案	基本財産の一部取り崩しについて 審議・原案通り承認
	第4号議案	理事の交代 審議・原案通り承認
	第5号議案	スキーオリエンテーリング関係規則改訂案 審議・原案通り承認
	第6号議案	委員会委員長の交代と委員追加案 審議・原案通り承認
	第7号議案	オリエンテーリングオンライン動画講習会企画案
	第8号議案	スイスオリエンテーリング協会への寄付送金
	なお、第7号議案と第8号議案は、審議事項ではなく報告事項のため、各申請者から取り下げとなった。	
	審議事項は第1号から第6号までとなった。	
	その他 総会の日程・方法の検討。	

第25回理事会

日時	2020年9月6日(日) 13:00 - 17:00	
会場	事務局及びweb会議(Zoom)	
議題	審議事項	
	第1号議案	倫理規程改訂案 審議・原案通り承認
	第2号議案	公認大会制度のWG設置について 審議・原案通り承認
	第3号議案	競技委員会委員の追加について 審議・原案通り承認
	第4号議案	定期理事会開催頻度の提案
	第5号議案	日本オリエンテーリング選手権実施基準改正 審議・原案通り承認
	第6号議案	全日本大会委員会委員の追加。日本ランキング実施につ 審議・原案通り承認
	第7号議案	全日本スプリント大会について
	なお、第4号は既に定款に記載のため合意事項。第7号は報告事項のため取り下げとなった。	

第26回理事会

日時	2021年1月3日(日) 13:00-17:00	
会場	事務局及びweb会議(Zoom)	
議題	審議事項	
	第1号議案	規程・規則の改訂
	①	倫理規程の改定 審議・原案通り承認
	②	個人情報保護理念 審議・原案通り承認
	③	給与規程 審議・原案通り承認
	④	就業規程 審議・原案通り承認
	⑤	文書管理規程 審議・原案通り承認
	⑥	全日本大会選手権クラス出場資格規則の制定 審議・原案通り承認[17名が賛成、1名が反対した]
	第2号議案	全日本実行委員会委員長交代及び委員追加 審議・原案通り承認
	第3号議案	2021年度振興基金及びくじ助成申請原案 審議・原案通り承認[17名が賛成、1名が棄権した]
	第4号議案	WMG2021借入金返済延期依頼 審議・原案通り承認
	第5号議案	2020年度全日本スプリント大会について 審議・原案通り承認
	第6号議案	賛助会員制度について 審議・原案通り承認
	第7号議案	You Tubeチャンネル作成について 審議・原案通り承認

第27回理事会

日時	2021年2月27日(日) 13:00-17:00	
会場	事務局及びweb会議(Zoom)	
議題	審議事項	
	第1号議案	2021年度事業計画案 審議・全会一致で承認
	第2号議案	2021年度収支予算案 審議・全会一致で承認
	第3号議案	規程・規則の改訂
	①	謝金規程の改定 審議・全会一致で承認
	②	新認定指導者規程の改定 審議・全会一致で承認
	③	競技規則類の改正案 審議・全会一致で承認
	第4号議案	持続化支援給付金の分配方法について 審議・全会一致で承認
	第5号議案	新事業基金引当資産の取り崩しについて 審議・全会一致で承認
	第6号議案	2021年度全日本大会(ミドル・ロング)事業者発注に関する件 審議・全会一致で承認
	第7号議案	独立諮問委員会の設立 審議・全会一致で承認

(3)業務執行理事連絡会 (主たる協議事項)

第1回	2020年5月10日(日)	リモート(Zoom)開催
	2020年度事業報告書、財務諸表の検討、総会の開催方法について 山西未来塾、動画作成、スキーO基準の見直し等	
第2回	2020年7月26日(日)	リモート(Zoom)開催
	感染対策ガイドライン、倫理規程改訂案、ガバナンスコード対応等	
第3回	2020年9月6日(日)	リモート(Zoom)開催
	倫理規程改訂案、公認大会WG設置、競技委の委員追加	
第4回	2020年12月23日(水)	リモート(Zoom)開催

賛助会員制度について、持続化給付金等について、来年度理事改選について
スポーツ振興基金の申請について、全日本スプリントについて、全日本選手権出場資格について
WMG2021関西から資金借用について、デフオリエンテーリング協会からの入会依頼について等
第5回 2021年2月9日(火) リモート(Zoom)開催
国際交流ガイドライン、静岡県協会からの全日本大会への意見書、OMMとの契約について
2021年度事業計画、会計の概要について、2026年度アジア大会立候補について等

9. Official Partner

株式会社ニチレイ、株式会社リテラメッド、かなめ測量株式会社、株式会社アークコミュニケーションズ、
サルミングジャパン、株式会社デザート、株式会社ブライコンパス

〔Ⅱ〕 2020年度の事業

【公益目的事業1】 普及指導に関する事業

1. 指導者養成、資格認定・登録

- ・ディレクター1級、2級講習会は実施されなかった。
- ・ディレクター・インストラクターの資格審査、認定・登録を行った。
- ・ナビゲーションインストラクターにオンライン講習を2回実施した。参加数計24名
- ・ナビゲーションインストラクター「ブロンズ講習」を各地で4回開催した。計25名を認定した。
- ・ナビゲーションインストラクター「ゴールド講習」を開催した。22名を認定した。
- ・ナビゲーションインストラクター養成講座「静岡」、ブロンズ講習「愛知」、シルバー講習検定「東京」を計画したが新型コロナウイルスの緊急事態宣言のため中止した。
- ・イベントアドバイザー研修会を2回開催した。(8月29-30日滋賀県、11月28-29日埼玉県)
- ・日本スポーツ協会へ公認スポーツ指導者制度移行の申請を提出した。
- ・2021/1月のJOAニュースに、指導者制度移行についての案内を指導者に送った。

2. 常設コース

- ・新規のパーマネントコースの登録はなかった。
- ・会員からの常設コース情報をWEBにて発信した。2020年度廃止が1コースあった。
- ・ネットプリント 現在58コースが稼働している。(2020年度に5コース新規登録した。)
- ・常設コースの新たな活用方法については検討されなかった。

3. 距離認定

- ・100キロコンペ申請に対して走歩距離認定を行った。 [申請数134件]

4. 普及及び受託事業

- ・普及に関する研修会・講習会を開催する
- ・活動が低迷している会員に対し、普及・活性化のための指導・育成を図る
- ・加盟していない県組織に対し、情報活動を行うとともに、加盟への働きかけと指導を図る
- ・民間企業等からの受託事業の推進を図り、実施する。
- ・野外活動施設、民間企業への普及を図る
- ・ワールドオリエンテーリングディの実施を推進し、学校教育への新たな導入への方策を検討する
- ・クラブを認定する制度について検討する
- ・高校登山部への技術指導については、インターハイが中止になったこと、「コロナ禍」で高校登山部の活動が休止になったため実施しなかった。
- ・大学教育への取り入れについて調査研究と情報提供を行う
- ・OMM(オリジナルマウンテンマラソン)等の競技主管を受託した。

5. 広報

- ・指導者、競技者、寄付・協賛者等に対するの情報提供として、JOAニュースを2回発行した。
- ・ホームページを維持管理し、情報発信を行った。
- ・理事会・事務局便りを21号から26号まで発信した。
- ・Facebook、Twitterにて情報発信を行った。
- ・プレスリリースを随時実施した。
- ・普及から競技力向上に至る様々のテーマでのリモートセミナーを開催した。(13回開催、延べ1218人が参加)
- ・公認大会主催者のためのワンストップサービスを開始する。

6. 地域活性化委員会

- ・会員から申請のあった助成金申請に対する審査及び回答書を作成し、15会員に助成した。
- ・モデル事業として、全日本リレー鹿児島大会を契機に、九州地区でのオリエンテーリング体験会、検討会など開催し、今後の支援策の基礎作りを行った。
- ・活動範囲拡大をねらい、中国、四国地方の会員と連絡を取り合った。また、山口県へ出向き現状と要望について直接聞き取りを行った。
- ・中国四国九州ブロックの地域会議開催をアシストした。
- ・コロナ給付金について、支援金制度をもとに配布案を検討し、2021年度に配布予定。

【公益目的事業2】 競技会の開催及び公認に関する事業

1. 全日本大会を主催した。

11月8日	第29回全日本リレーO大会	鹿児島県南さつま市	321名
11月21日	第9回全日本ミドルO大会 [WRE対象大会]	長野県富士見町	607名
11月22日	第47回全日本大会 [WRE対象大会]	長野県富士見町	552名
2月20日	第13回全日本スプリントO大会	奈良県	「コロナ禍」により中止
2月13日	第10回全日本スキーO大会(スプリント)	岩手県八幡平市	14名
2月14日	第10回全日本スキーO大会(パシュート)	岩手県八幡平市	14名
3月6日	第10回全日本スキーO大会(スドル)	岩手県八幡平市	16名
3月7日	第10回全日本スキーO大会(リレー)	岩手県八幡平市	30名
	第16回全日本トレイルO大会 [WRE対象大会]		「コロナ禍」により中止

2. 会員よりの大会の申請を受け公認した。	総計1,342名の参加を得た。	
[フットO] カテゴリA		
11月14-15日 ワールドマスターズ関西プレ大会(WRE対象大会)	兵庫県香美町、養父市	388名
カテゴリB		
7月4日 霧ヶ峰ミドル大会2020	長野県諏訪市	334名
7月11-12日 札幌二日間大会	北海道	「コロナ禍」により中止
9月27日 京大京女立命館大大会	滋賀県	「コロナ禍」により中止
10月25日 青い森Apple2日目ミドル大会	青森県	「コロナ禍」により中止
カテゴリS		
8月16日 第88回上尾OLC大会	埼玉県熊谷市	229名
10月4日 ワールドマスターズ関西プレ大会	兵庫県神戸市	175名
3月7日 第91回上尾OLC大会	埼玉県熊谷市	216名
[トレイルO] カテゴリT		

3. 国際大会の開催

- ・国際大会としての国内での開催はなかった。
- ・WRE対象大会として以下の大会を実施した。
第9回全日本ミドルO大会、第47回全日本大会、ワールドマスターズ関西プレ大会

4. その他の競技会を主催・共催した。

- ・ナビゲーション・ゲームズシリーズ2019(27会場、うち中止13会場) 賛同する団体と共催 延1,588名

5. 賠償責任保険及び傷害保険

- ・株式会社保険代理店と引き続き加入した。
- ・JOA主催大会及び、申請を受けた公認大会等への傷害保険を適用した。(3件の申請を受けた)

6. 規程・規則等

- ・日本オリエンテーリング選手権(個人競技)及び(リレー競技)の実施基準の改正を行った。
- ・IOFフットオリエンテーリング競技規則2020年版及び2021年版の日本語訳を行った。
- ・スタート/フィニッシュ及び計時に関するハンドブックの作成をした。
- ・ISCD2018の翻訳を行った。

7. アンチ・ドーピング

- ・ドーピング検査 日本アンチ・ドーピング機構が実施したドーピング検査に協力した。
- ・WOC, JWOC等に向けた強化合宿(11月22日、長野県富士見市)において講習会を実施した。
- ・イベントアドバイザー講習会「8月29日滋賀県竜王町、11月28日埼玉県越生町」にて実施した。
- ・日本アンチ・ドーピング機構の協力を仰ぎ教育啓発活動を行った。
- ・JADAの検査、教育活動に対応するため会議・研修会に参加した。
加盟団体向け説明会、教育・啓発会議、定期研修会(2回)、アンチ・ドーピングフォーラム
- ・教育用クリアフォルダーの作成。
- ・学連における教育啓発活動を充実するため、インカレ選手権クラスの出場要件にeラーニングの受講を義務化した。
- ・選手からのアンチ・ドーピングに関しての相談に応じた。
- ・日本スポーツフェアネス機構、日本アンチ・ドーピング機構と連携し国内でのアンチ・ドーピング活動に協力した。

8. 競技者登録

- ・2020年度登録を実施し、登録者への情報提供を行った。(前年度対80.0%)
[男性1,391名、女性454名、計1,845名(内、学生 975名、U18/ 93名、U15/ 135名)]

【公益目的事業3】 III 競技力向上事業

1. 選手・役員の派遣

2021年2月22日-28日 WSOC(世界スキーO選手権)エストニアへの選手派遣を行った。
(選手1名)

2020年度の世界選手権派遣等は、「コロナ禍」で大会開催が中止となり、派遣はされなかった。

7月7日-11日	WOC
6月28日-7月5日	JWOC
5月20日-24日	Wcup
10月1日-6日	Wcup
5月1日-5日	AsOC
8月7日-15日	WMOC
11月28日-12月5日	WTOC
8月17日-23日	WMTBOC
9月9日-13日	WMMTBOC
3月23日-27日	WUSOC

2. 強化委員会

- ・2021年1月に、アドバンス登録選手制度により強化対象の競技者を把握し、その中からフォレストA強化選手(男子1名)、B強化選手(男子5名、女子5名)、スプリント強化選手(男子5名、女子2名)を認定した。
- ・練習会を1回、ジュニア委員会及び日本学連と共同で強化合宿を1回実施した。
- ・外部講師を招聘しオンラインによるフィジカル講座を2回実施した。

3. ジュニア委員会

- ・2021年1月に、U20/U18強化選手を指定した。
- ・U20/U18強化選手に対して、定期的なオンラインコーチングを実施した。

4. スキーO委員会

- ・強化選手の指定(世界選手権並びにユニバシアード)
世界選手権については男子1名を指定した。ユニバシアードについては、大会延期のため再指定の予定。
- ・強化合宿の開催(残雪期、夏期、秋期、冬期)、秋期、冬期に合計4回の強化合宿を行った。
- ・フット強化合宿への参加支援を企画したが、未実施。
- ・代表用具の整備で、ウェア及び用具について、派遣が最小のため未実施。
- ・マナー、ドーピング、インテグリティ、代表規範の教育等、派遣が最小のため未実施。
- ・強化候補選手の発掘として、クロスカントリースキー競技を行っている高校生、大学生への広報活動を継続的に行った。
- ・スポンサーの獲得については実績はなかった。
- ・スノーシューオリエンテーリング大会の開催について、日本スノーシューイング連盟への協力を検討中。
- ・競技規則の整備、周知活動については、特になかった。
- ・指導者講習会を3回実施した。(安比、蔵王、安比)
- ・委員会組織体制の強化を図り、委員を1人追加した。
- ・2024年世界スキーオリエンテーリング選手権大会の日本開催招致活動を実施しているが、招致時期は2026年に変更予定。
- ・IOF活動の支援については、実績はなかった。

5. MTB-O委員会

- ・非定期で年間を通じて、20日練習イベントを実施した。海外遠征前の練習会開催がなかったことにより減少した。
- ・新地図として「千葉白井」、「知多半島」を作成し実施した。
- ・世界選手権等については、新型コロナウイルスの影響により中止となった。
- ・主要メンバーのほぼ全員が、スマートローラー、Zwift(バーチャルトレーニング環境)にて練習を進めている。
- ・MTBOオリエンティアへの世界選手権での紹介がきっかけで、NaviTabiの利用が急増した。
- ・パンフレットを1000部作成し、自転車界、アウトドア界、学生オリエンティアに配布した。

6. トレイルO委員会

- ・第16回全日本トレイルO選手権大会の新型コロナウイルスの影響により見送った。
- ・公認大会の申請がなかった。
- ・障害者への普及活動の促進のため、トレイルO協会と協同で働きかけを継続しているが奏効しなかった。
- ・日本トレイルO競技規則の改訂を進めている。ガイドラインについては未実施。
- ・大会、普及活動とも、新型コロナウイルスの影響で活動ができなかった。

7. 競技委員会

- ・委員の改選を行った。 新任/楠 健志
- ・委員会をメール及びリモートにより、情報共有・意見交換を随時且つ頻繁に実施。
- ・新競技規則/ガイドラインの制定、及び関連規則類の捕手。 [規程の項目に掲載]
- ・スタート/フィニッシュの運営及び計時に関するハンドブックを作成した。 [規程の項目に掲載]
- ・イベントアドバイザー研修会の実施 [指導者養成・資格認定等に掲載]
- ・公認大会の認可、イベントアドバイザーの任命、Eクラス推薦の審査及び記録の認定を行った。

8. 女性委員会

- ・女性向けオリエンテーリング講習会(トレーニングキャンプ2020)は、コロナ感染拡大防止に鑑み、中止した。
- ・活性化を目的としたイベントとして、オンライン講習会「アスリートの体作りとセルフケア」(2021/2/26)を開催した。

10. 国際委員会

- ・IOFの専門委員会に委員を派遣し、IOFの活動に協力するとともに、日本の競技力向上に資することができた。
- ・IOFトレイルO委員会では茅野委員が、Global Development委員会では落合委員が活動した。
- ・2022年アジア選手権のIOF-EAアシスタントとして落合委員が準備活動した。
- ・JOCと連携した。 NF国際フォーラムに出席(1月28日)。他のNFとの交流を図った。
- ・諸外国との交流を進めた。特にアジア地区におけるオリエンテーリングの普及発展にIOFと連携して取り組んだ。
- ・IOFのGDCの活動を通じてアジアでの普及に協力し、フィリピン、タイとのミーティングに参画した。

9. WMG2021実行委員会

- ・準備状況
IOF-SEA.EAは、開催1年前点検の予定だったが、「コロナ禍」により来日中止となった。
確認事項については、メールでの連絡となった。

・リハーサル大会

スプリント 10月4日に神戸市総合運動公園にて、175名が参加し開催した。

フォレスト 11月14日-15日に香美町ハチ北高原199名、養父市ハチ高原189名が参加し、二日間にわたって開催した。

※5月4-6日に開催予定でしたが、「コロナ禍」により断念した。スプリント競技は10月に延期開催した。フォレストについては台風の影響もあり再度11月に延期し開催した。

10. 全日本オリエンテーリング大会実行委員会

- ・2020年度末現在、委員長に宮川早穂、委員に瀬川 出、木村佳司、稲葉英雄、落合公也、石澤俊崇、山川克則、西村徳真、宮西優太郎、坂野翔哉の10名が任命された。
- ・2021年度大会を当初千葉県にて予定していたが、新型コロナウイルスの影響で断念した。新に長野県開催で準備を進めた。

11. アスリート委員会

- ・2020年2月、ガバナンスコードを受けて新たにアスリート委員会の設立を行った。
- ・理念を「フェアプレイ精神」、「アスリートとそれを支える人の相互理解」で成り立つオリエンテーリング競技の発展に寄与すること、ミッションを「オリエンテーリング競技の価値向上のために、競技者とJOAの橋渡しの存在を担うこと」「スポーツとしての公平性を守り、健全な競技環境を実現すること」の2点と定めた。
- ・2020年度末現在、委員長に寺垣内航、委員に堀田遼、宮川早穂、木村卓哉、加納尚子、菅谷裕志、石原湧樹、岩田健太郎、稲毛日菜子の9名が任命されている。
- ・2020年7月に競技委員会、強化委員会宛に意見書を提出した。
- ・JOAのWebサイトにJOAへの意見募集を行うご意見箱を設置した。

12. 日本スポーツ振興基金助成金報告「助成金確定報告から」

スポーツ団体選手強化活動	交付決定額	計
①スキーO世界学生選手権へのチーム派遣	300,000	
②フットOジュニア世界選手権へのチーム派遣	300,000	
③MTB-O世界選手権チーム派遣	400,000	
④フットO世界選手権へのチーム派遣	300,000	
⑤トレイルO世界選手権へのチーム派遣	300,000	
⑥MTB-Oマスターズ世界選手権選手派遣	400,000	2,000,000
スポーツ団体大会開催助成	交付決定額	計
①全日本オリエンテーリング2日間大会2019	1,000,000	
②第29回全日本リレーオリエンテーリング大会	1,000,000	2,000,000
スポーツ団体スポーツ活動助成(くじ)	交付決定額	計
①WMG/WMOC2021関西プレイベント3日間大会	0	
②スキーオリエンテーリング講習会	1,846,000	
③スキーオリエンテーリング指導者講習会	2,325,000	
④ドーピング検査事業	72,000	
⑤ドーピング防止啓発活動推進事業	344,000	4,587,000
	合計	8,587,000

- ・世界選手権等への派遣・強化活動事業を日本スポーツ振興センターの助成申請を行い実施した。
- ・2020年度日本スポーツ振興基金の助成金は以上のように決定し活動を行った。
- ・選手強化活動の交付額についてはの配分は、事業計画に基づいて配分する。

【その他】

1. 法人部門

2020年4月から5月にかけて、「コロナ禍」により緊急事態宣言が発令されたため、事務局のテレワークを実施した。

2. 関係諸機関等と連携を図り、普及発展に努めた。

- ・国際オリエンテーリング連盟(IOF)に引き続き加盟をした。
- ・IOF総会・委員会に代表を派遣した。
- ・アジアワーキンググループミーティングに代表を派遣した。
- ・公益財団法人日本スポーツ協会に引き続き加盟をした。
- ・公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)に引き続き加盟をした。
- ・一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構(J-Fairness)に加盟した。
- ・公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)に引き続き加盟した。
- ・野外活動団体協議会に引き続き加盟をした。
- ・一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)に引き続き加盟した。

3. 寄附金募集事業活動

寄付金維持等

29年度「税額控除に係わる申請」を行い認定された[認可日:府益担第1377号/平成29年11月20日]

[有効期間:平成29年11月20日ー平成34年11月19日]

- ・2020年度(4月-3月) 寄附金総額4,240,242円となった。

①オフィシャルパートナー パートナー総額1,500,000円

かなめ測量株式会社、株式会社アークコミュニケーションズ、株式会社ブライトコンパス
株式会社リテラメッド

②寄付者一覧(敬称略、順不同) 寄付金総額2,740,242円(ポスタル寄付を含む)

滋賀県OL協会、(特非)トレイル・オリエンテーリング協会、NPO法人M-nop

阿天坊 裕	阿部昌隆	伊藤好信	伊藤伸悟	浦瀬太郎	浦瀬香子	小畑 睦
大塚校市	大塚ふみ子	加藤高男	加藤昭治	木村佳司	佐々木はるみ	坂本太郎
高橋義人	高橋明美	棚橋是之	土屋晴彦	徳永良一	徳野利幸	徳野八重子
中村 憲	浜田康宏	平島俊次	日向 繁	福田良雄	古津和夫	宮本佳記

③会員からの支援寄付金

全日本、公認大会等にて、皆様から戴きました会員支援総額427,000円となった。

4. 表彰に関する事項

2020年度において表彰はなかった。

5. 会員との交流

- ・対話集会を開催した。

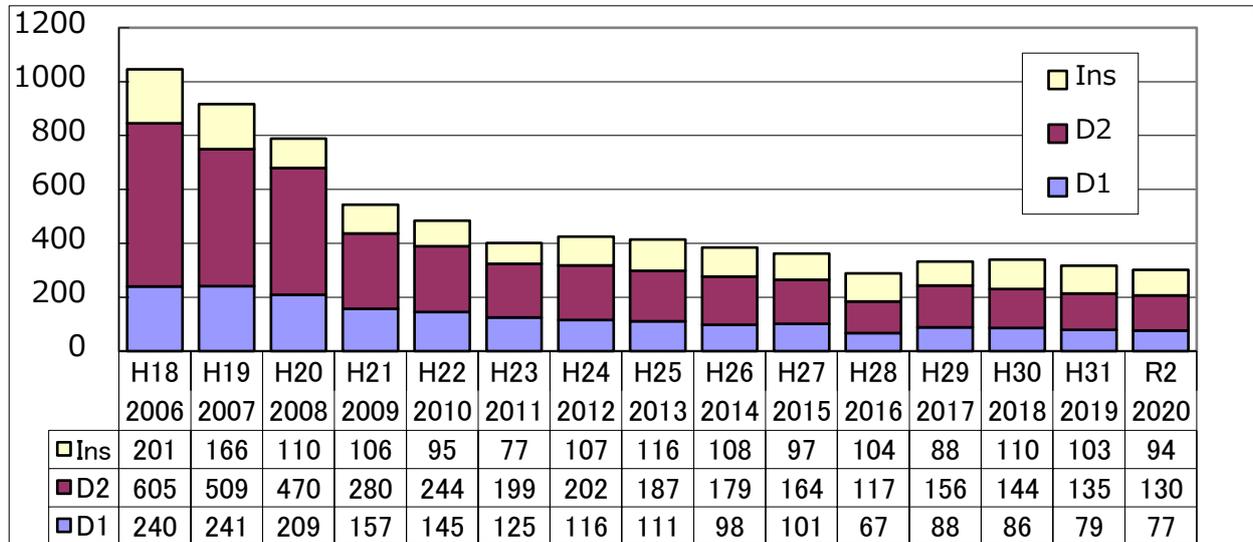
2020年7月26日 定期総会が新型コロナウイルス感染症の影響で書面総会となったため、会員との交流を企画しリモート(Zoom)による交流会を開催した。

2020年11月7日 全日本リレー大会開会式式場にて開催した。

附則 大会名	略称に関する注釈	関係機関ほか
WOC	世界選手権 (フット0)	IOF 国際オリエンテーリング連盟
JWOC	ジュニア世界選手権 (フット0)	JOC 日本オリンピック委員会
WCup	ワールドカップ (フット0)	JISS 日本スポーツ振興センター
WMOC	マスターズ世界選手権 (フット0)	JADA 日本アンチ・ドーピング機構
AsOC	アジア選手権 (フット)	J-Fairness 日本スポーツフェアネス推進機構
AsJYOC	アジアジュニアユース選手権(フット)	UNIVAS 大学スポーツ協会
AsTOC	トレイル0アジア選手権	WRE ワールドランキングイベント
WMG	ワールドマスターゲームズ	
WTOC	トレイル0世界選手権	
WMTBOC	マウンテンバイク0世界選手権	
WSOC	スキー0世界選手権	
JWSOC	ジュニアスキー0世界選手権	
EYOC	ヨーロッパユーススキー0選手権	
WUOC	世界学生0選手権	
WUSOC	世界学生SKI-0選手権	

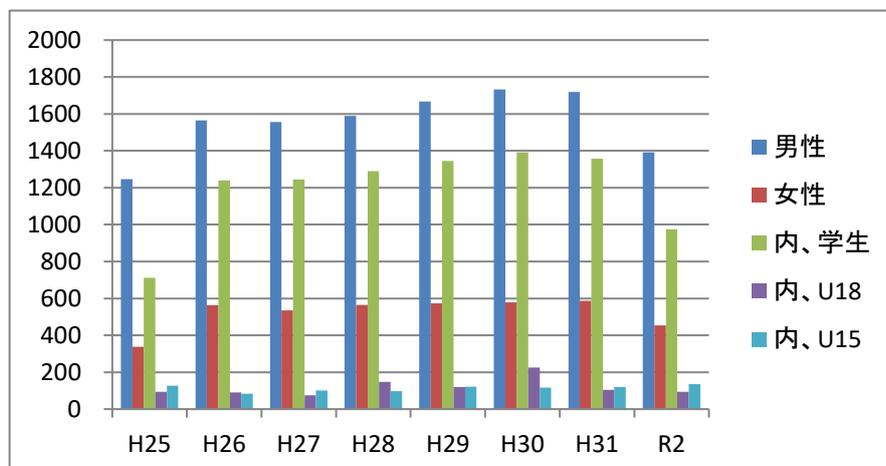
年度別指導者登録者数

西暦	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
D1	240	241	209	157	145	125	116	111	98	101	67	88	86	79
D2	605	509	470	280	244	199	202	187	179	164	117	156	144	135
Ins	201	166	110	106	95	77	107	116	108	97	104	88	110	103
合計	1046	916	789	543	484	401	425	414	385	362	288	332	340	317



年度別競技者登録者数

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
男性	1246	1565	1556	1589	1667	1733	1719	1391
女性	337	563	535	565	573	579	587	454
内、学生	711	1239	1245	1290	1345	1392	1358	975
内、U18	93	90	75	148	119	225	105	93
内、U15	126	83	100	97	121	117	119	135
総計	1583	2128	2091	2154	2250	2312	2306	1845



公益社団法人日本オリエンテーリング協会				2020/4/1	
協会名	会長名	〒	住所	事務局氏名	電話連絡
北海道	堀井 学	048-1731	虻田郡留寿都村留寿都18-2	熊谷智之	080-5599-3044
岩手	三ヶ田礼一	028-3314	紫波郡紫波町大巻字桜田25	日下雅広	090-6782-5381
宮城	岡本和広	982-0841	仙台市太白区向山3-18-1向山教職員宿舎401	菊池正昭	090-6457-4939
秋田	富樫博之	018-0402	にかほ市平沢字立沢50立沢社宅301	山下友宏	090-2915-1288
福島	加藤一郎	975-0011	福島市森合北谷地13-9	廣田雅幸	090-2882-3313
茨城	狩野平左衛門岳也	316-0023	日立市東大沼町3-6-20	黒羽和之	
栃木	岡崎良昭	320-0806	宇都宮市中央3-4-7-202	荻田育徳	028-616-6002
群馬	津金沢民男	379-2204	伊勢崎市西久保町3-1057-10	松島謙一	
埼玉	福原正三	350-1108	川越市伊勢原町5-5-5 6-201	福原正三	090-4628-5039
千葉	奥田健史	294-0045	館山市北条1719-1NNハム2A	平山遼太	
東京	杉本光正	145-0072	大田区田園調布11-12	天明英之	080-6552-5521
神奈川	碓井 進	225-0014	横浜市青葉区荏田西3-9-3	佐藤信彦	090-1661-4899
新潟	目黒正文	942-0026	上越市西ヶ窪浜331-13	山崎正志	025-544-3732
石川	不破大仁	920-0966	金沢市城南1-11-26	畑中 勝	090-2030-0851
福井	奥居綱朗	918-8011	福井市月見1-2-66	林 博	0776-35-9860
山梨	酒井 寛	408-0034	北杜市長坂町大八田2673-15	酒井 寛	0551-32-2167
長野	美谷島孝	399-0701	塩尻市広丘吉田512-16	豊沢吉弥	0263-57-4831
岐阜	大場尊美	506-0051	高山市中山町296	橋本八州馬	0577-32-0532
静岡	坂本太郎	422-8021	静岡市駿河区小鹿3-3-2 4-45	村越久子	
愛知	新帯 亮	444-0856	岡崎市六名1-5-6	小野盛光	0564-51-9992
三重	前田亮一	514-0055	津市南川路4-2-4	谷 秀司	05-9227-3772
滋賀	古津和夫	520-0022	大津市柳が崎9番1-1218	平島俊次	077-525-7906
京都	古川勝美	611-0002	宇治市木幡金草原16-1-102	小野田 敦	0774-31-4688
大阪	北川達也	583-0033	藤井寺市小山9-12-22	横田 実	090-4299-2997
兵庫	尾上俊雄	655-0049	神戸市垂水区狩口台2-4-14	芝 聖子	078-782-4521
奈良	奥野信亮	639-2113	葛城市北花井953	筒井通子	0745-27-0830
和歌山	山下直也	640-8444	和歌山市次郎丸147	楠見耕介	073-454-1592
鳥根	森山健一	694-0042	大田市長久町稲用846	岡田一秀	08548-2-3766(FAX兼)
岡山	千田博通	710-0131	倉敷市天城台3-1-8	佐藤旭一	086-428-3732
広島	伊東博司	722-0201	尾道市原田町小原405	清水尊司	0848-38-0719
山口	渡邊正次	743-0001	光市室積村6341-3	小林一登	080-6180-6341
徳島	林 和志	777-8012	徳島市大原町池ノ内30-17	林 和志	088-662-6918
香川	松井繁成	765-0022	善通寺市稲木町376-8	木村 進	
愛媛	河野忠康	794-0832	今治市八町西3-7-47	徳野利幸	0898-31-5727(FAX兼)
福岡	原田 隆	811-1355	福岡市南区桧原1-33-22-606	原田 隆	092-737-0611
宮崎	小八重善裕	880-0211	宮崎市佐土原町下田島7789-3	小八重秀徹	0985-73-5543
日本学連	河合利幸	329-2441	塩谷郡塩谷町船生6082-68	山川克則記念館	

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

〒160-0013

新宿区霞ヶ丘町4-2

Japan Sport Olympic Square

電話 03-5843-1907

FAX 03-5843-1913

e-mail joa@orienteering.or.jp

(取扱に注意願います)